

楽しかった！ やりきった！

夏休みをめぐりて

4月からスタートした新年度も、早いもので一学期の最終の月になりました。いよいよ夏休みに入ります。小学生も中学生も「あんなことをやってみて」「こんなことにチャレンジしてみたい」など、それぞれに夏休みを待ちにしていると思います。

夏休みは40日近くあり、とても長い休みです。保護者の方にとっては大変に感じられるかもしれませんが、子どもたちにとっては、いろいろな経験ができる貴重な期間でもあります。



例えば

①目標を決める↓夏休みにしてみたいことやしなければいけないことを書き出してみる。

②計画を立てる↓1日の過ごし方を決める。

③行動する↓具体的に実行する日を決める。

夏休みは学年に応じて、自分自身が責任を持つというところを経験する良い期間だと思います。

夏休みを振り返ってみて「楽しかった!」「やりきった!」と感ずることができると、家族みんなでわいわいやがやキャッチボールをしてみてもいいでしょうか。

親学のススメ シリーズ その②

あなたの家庭ではどうですか？

Q「子どもの身に向き合っていますか？」

日々の仕事や家事に追われ、疲れているのに、子どもが飛びついて来たり「あね、あね…」と話しかけてきたとき、子どもを抱きしめ、耳を傾け、目を見て話す時間が少なくなっているいませんか？

「今忙しいから、あとで…」と言ってしまうことはありませんか？

子どもが、今日の保育園や学校での出来事を真っ先に聞いてほしいのが親です。

子「今日ね、私、〇〇したんだよ。」

親「〇〇ちゃん、すごいね。よくやったね。」

ほめられて喜ばない子どもはいません。(大人でも同じですよね。)

ほんのわずかな時間でいいのです。家事や他のことの手をとめて、子どもに向き合いい、抱きしめてください。親の愛情が伝わるはずですよ。

やがて子どもは親に自慢だけでなく、失敗したことや、友達のことも話すようになります。

子どもたちが成長するにつれ、思春期や反抗期に入ると、会話が減る時期もありますが、返事をしなくても親の言葉は耳に入っているのです。照れくさくて小さい頃のように反応しなくても、思いは伝わっています。

子どもたちが大人になったとき、次の世代に受け継ぐ宝物がひとつ生まれます。



ふりかえりチェック!

- こどもに「おはよう」「おやすみ」とあいさつしていますか？
- 目を見ながら話を聞いていますか？
- よいことをしっかりほめていますか？
- 感情で叱っていませんか？
- 親子で一緒に本を読んでいますか？
- お手伝いをさせていますか？